

じゆくご 熟語ランド



第26回

田代しんたろう

大は小を兼ねる

言葉の意味

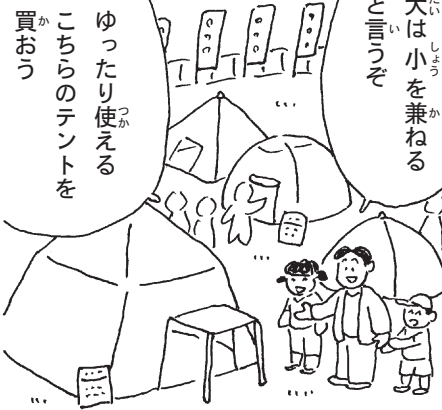
小さいものは大きいものの代わりにはならないが、大きいものは使い道が広く、小さいものの役目を兼ねることができるとい意味です。



ただし「小よく大を制す」ともいうように、人間の場合は小さい体型の人ならではの利点もあります。身長や体重が大きければ良いというものでもありませんね。

こんなふうに使うよ

大は小を兼ねると言っぞ



ゆったり使えるこちらのテントを買おう

このネジ大きすぎてはまらないや



大は小を兼ねるとは限らないなあ

習二君の大は小を兼ねる



人形の洋服を入れる箱がほしいな



この箱どうか

書道用紙が入っていた



うーん大きくてかわいくない

小さいよりいいだろう



大は小を兼ねると言っし...

いいだろう



うーん...



習二

お父さんが着ていたこのトレーナー着てみないか？



きつとダブダブだよ

大丈夫、大は小を兼ねる



えーっ



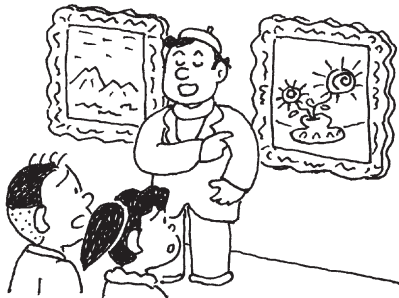
しゅうじ君の ことわざ。



自画自賛 (じがじさん)

言葉の意味

自分が描いた絵を自分でほめるように、自分の行動を自分自身で称賛する様子を表した熟語です。



自分のしたこと(じごん)に自信(じしん)を持つのは悪いことではありませんが、他の人(ひと)からの評価(ひょうか)も聞かずに(きかずに)自慢(まん)すぎると笑(わら)われてしまいますね。

「自我(まご)自賛」と書くのは間違い。

こんなふうに使(つか)うよ



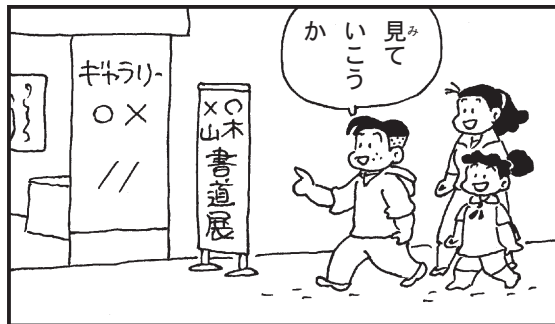
よく書けたでしょう

自画自賛(じがじさん)する前にみんなの感想(かんそう)を聞きましょう



自画自賛(じがじさん)といわれるかもしれないませんが、自信(じしん)を持って発表(はっぴょう)する新製品(しんせいひん)です

習二君の 自画自賛



見てかいて



これは我ながら良く書けたと思いますよ



自画自賛(じがじさん)かな



とうっか

自書自賛(じしょじさん)かな



え？ これ書(か)いたんですか？



子どもが描(か)いた絵(え)かと思(おも)った